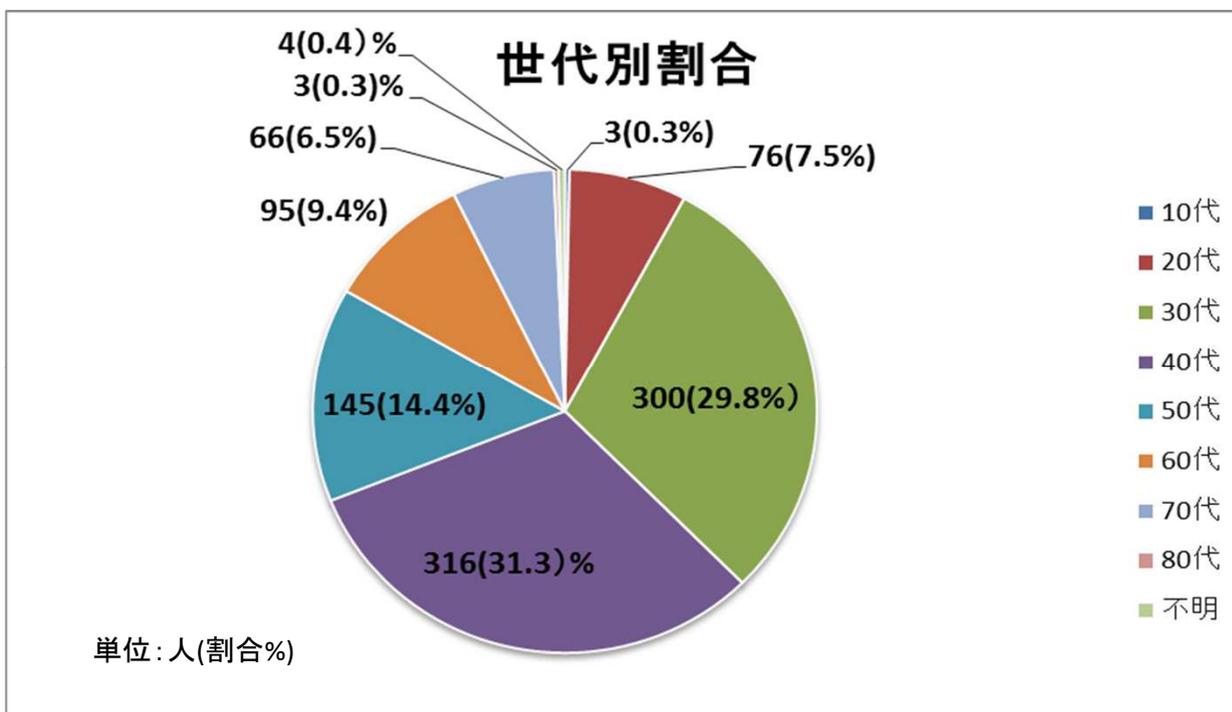
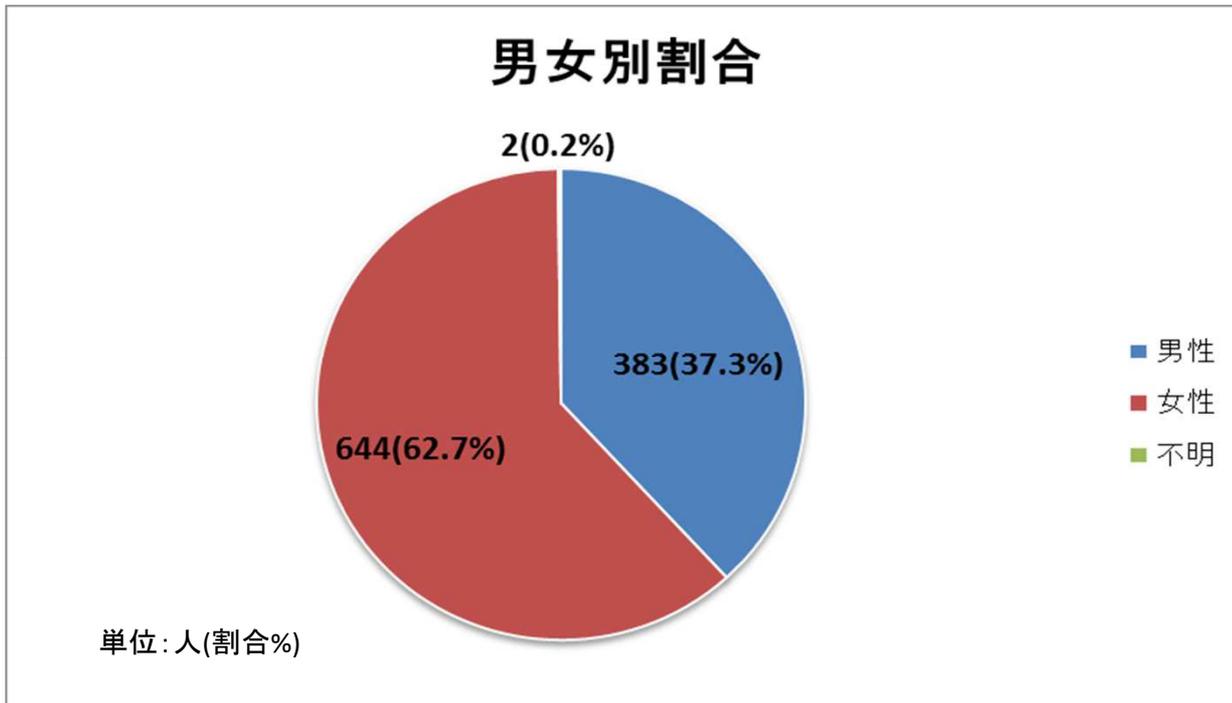


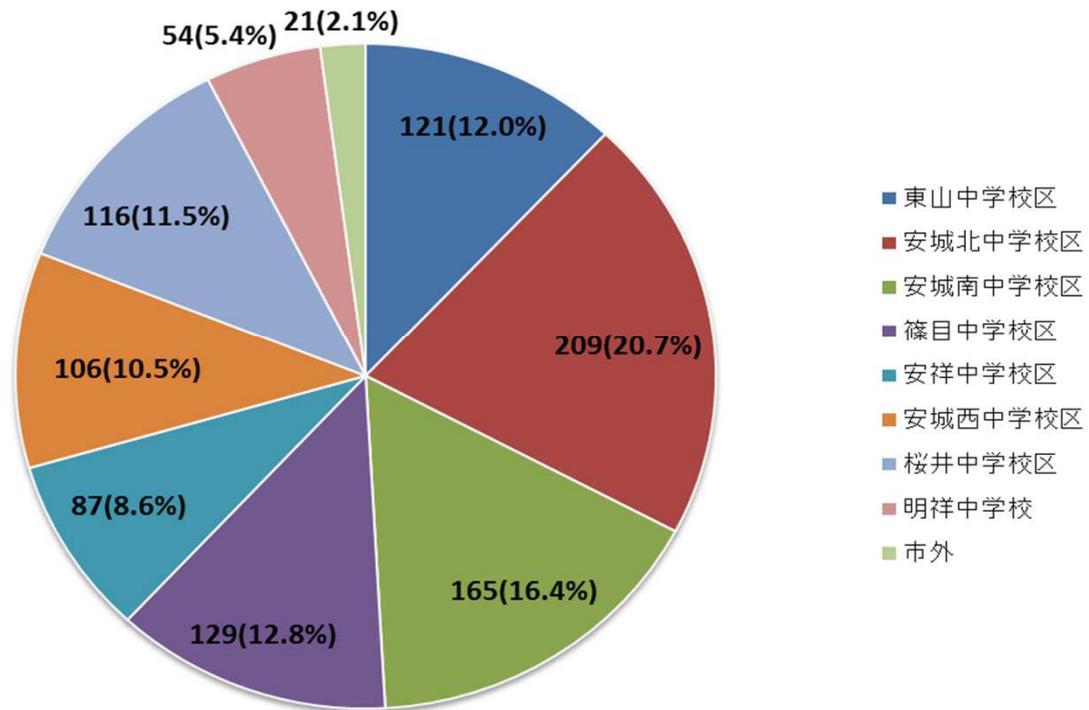
第10回eモニターアンケート「福祉センター及び社会福祉協議会について」

実施期間
回答数

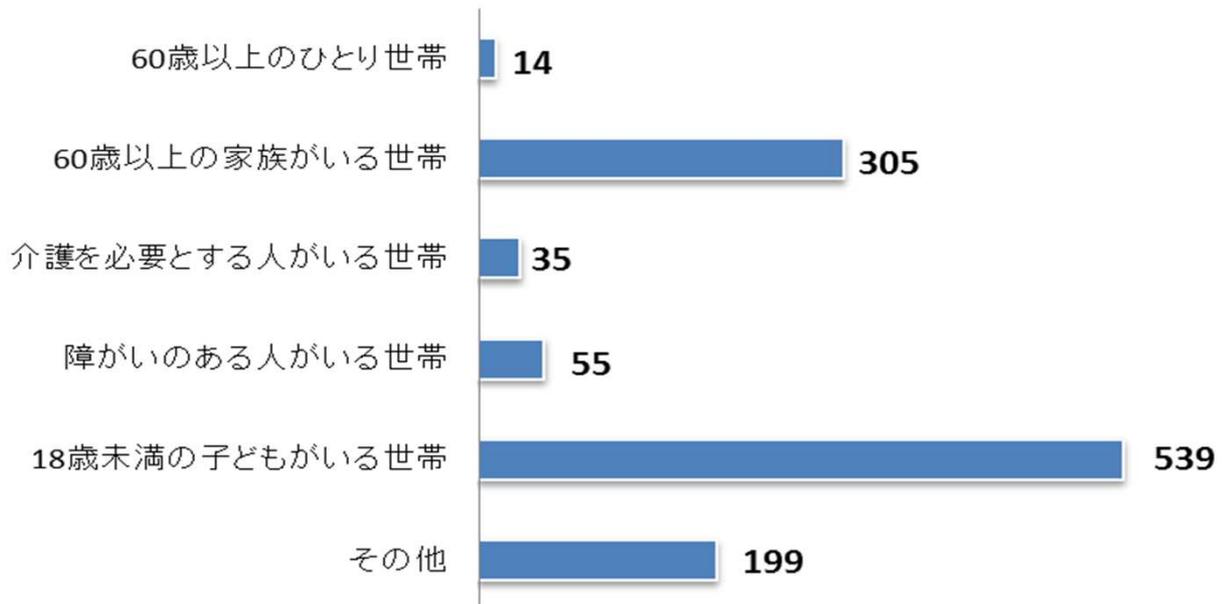
平成27年11月13日 ~ 平成27年11月23日
1008 人



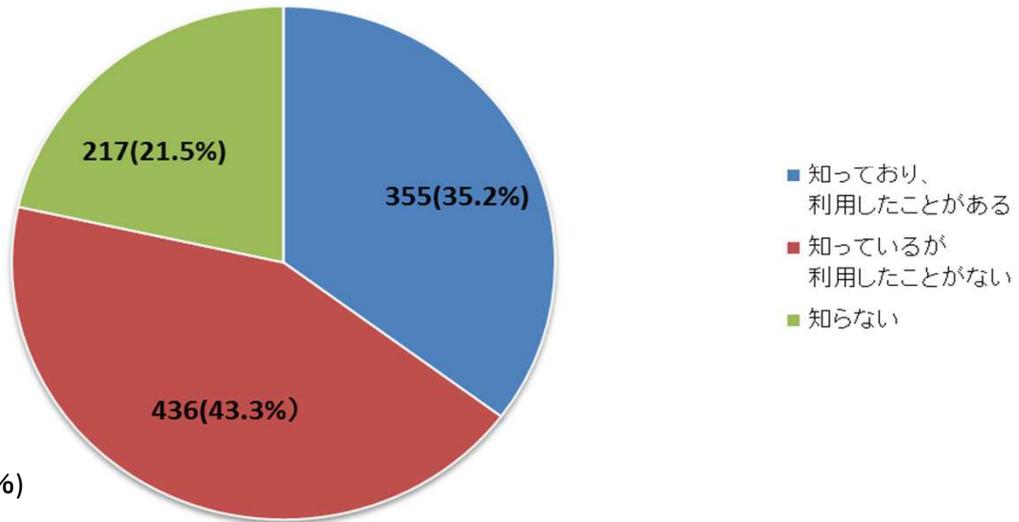
問1: あなたのお住まいの地域はどちらですか



問2: あなたの世帯についてお聞きします(該当するものすべてお答えください)

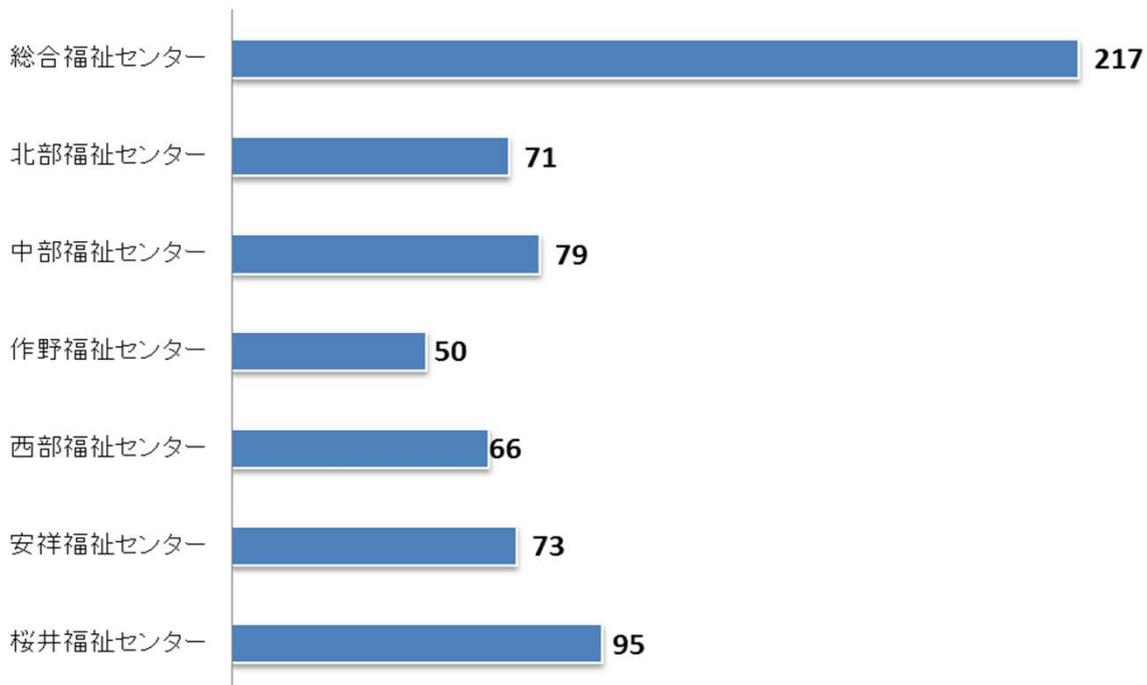


問3: おおむね各中学校区に福祉センターが設置されていますが、福祉センターの存在を知っていますか



単位: 人(割合%)

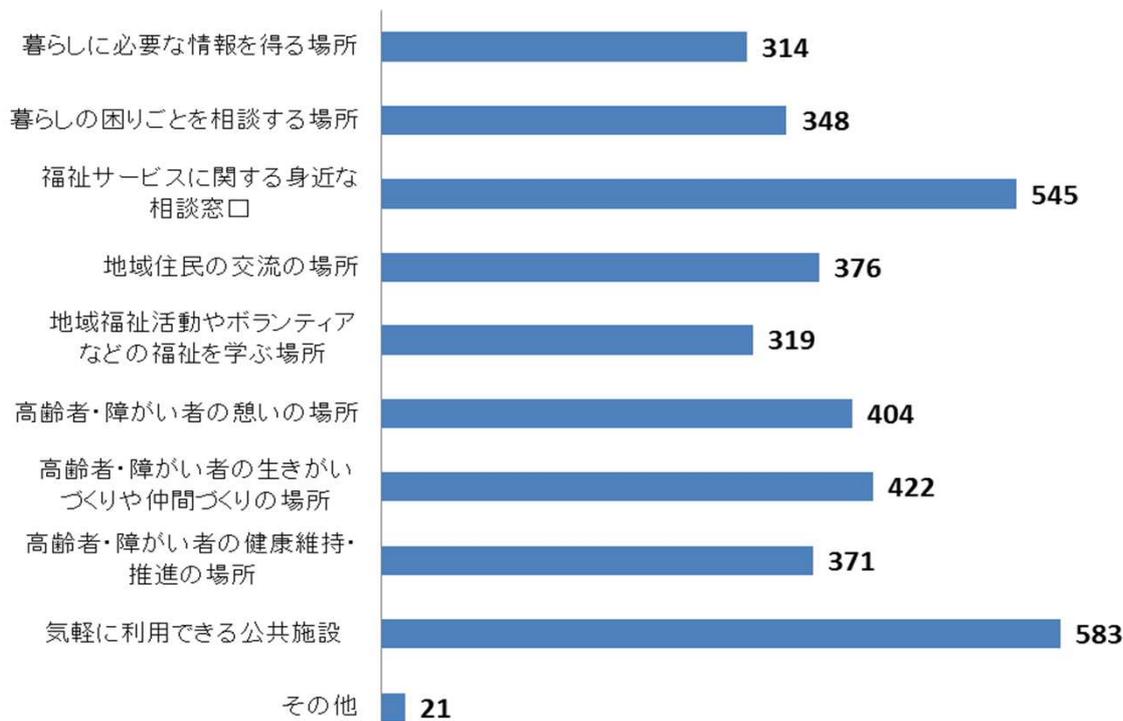
問4: どちらの福祉センターを利用しましたか (複数選択可)



問5: どのような目的で利用しましたか。具体的に ご記入ください

- ・会議室などの借用
- ・子どもの遊び場として
- ・ボランティアの例会
- ・福祉センター内にある児童センターや子育て支援センターで遊ぶため
- ・カラオケ大会
- ・子供の作品展
- ・児童館で子供を遊ばせる、日本語ボランティア
- ・車椅子をお借りした
- ・シルバーカレッジOB会の勉強会
- ・療育センター(やまびこルーム)への参画
- ・児童センターを利用するために行った
- ・老人クラブのカラオケ
- ・児童センター、ボランティア活動
- ・サークル・車いすを借りる・車いす移送用車両を借りる・講座・福祉祭り
- ・講座に参加
- ・体力作りの為
- ・講習会など
- ・子供会
- ・お祭りの時に、お風呂をもらいました。
- ・地域研修会
- ・視覚部の方の手引き(ボランティア)
- ・孫を遊ばせるため
- ・福祉まつり
- ・子供の習い事
- ・ヘルストロンの利用

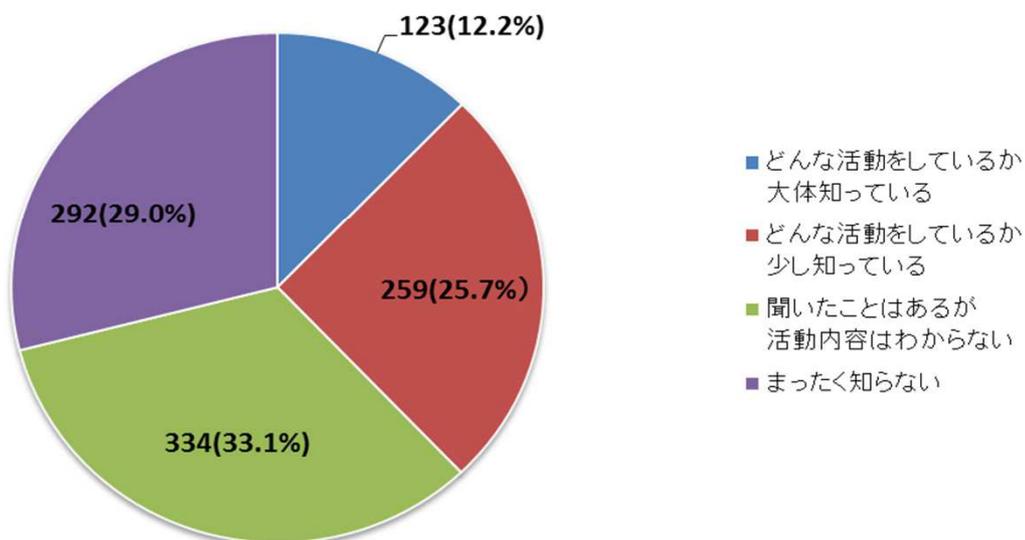
問6: 福祉センターの地域の役割として望む事柄は 何ですか(複数選択可)



問7:「その他」とは具体的にどのような事柄かご記入ください

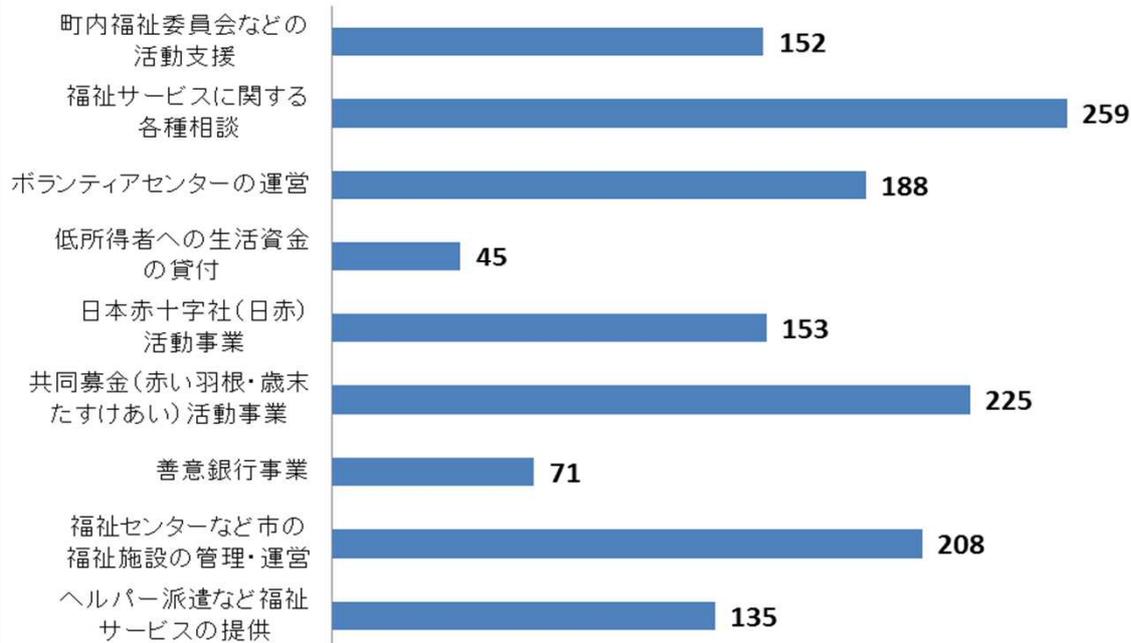
- ・高齢者、障害者の御家族が息抜きできる場所。
 - ・高齢者および障害者が、児童たちとふれあう機会がもう少しあるとよい
 - ・60歳以上ではなく40歳以上のロコモ体操や認知症予防についての勉強会など
 - ・災害時の避難場所
 - ・育児中の気晴らし、ママさん同士との会話によってストレス発散
 - ・教養講座（講演）などの無料開催
 - ・南部に福祉センターがないのは残念
 - ・子供と高齢者ボランティアの交流の場
 - ・子どもも出入りできるといい
 - ・子育て家族の集いの場
- ・福祉サービスを必要とする方だけでなく、福祉サービスに関するボランティアを募集する場所、ボランティアをする場所でもあってほしい。また、「交流」「憩い」「公共施設」という視点では、公民館やコミュニティセンターとの機能著服があると思います。障害者と健常者との境をわざわざ作ってしまっている面もあり、交流や相互支援を強化するためにも、両者が気持ちよく使える共同施設とすることが望ましいのではないのでしょうか
- ・ボランティア活動拠点
 - ・身体障害者の働けるような場所
 - ・自由に使える自習スペース
 - ・実際にどのような施設であるかわかっていないので もっとその辺を広めて行くべきでは？
 - ・お年寄り専用的なイメージがあり、60才をこえても、そこに行くと、としよりくさくて行きたくないと、親は、感じてます。もっと明るい開けた場所にして欲しい
 - ・囲碁の同好会などの実施
 - ・子育ての情報の発信もしてほしい

問8: 社会福祉協議会（以下、「社協」）は、どんな活動をしているか知っていますか



単位: 人(割合%)

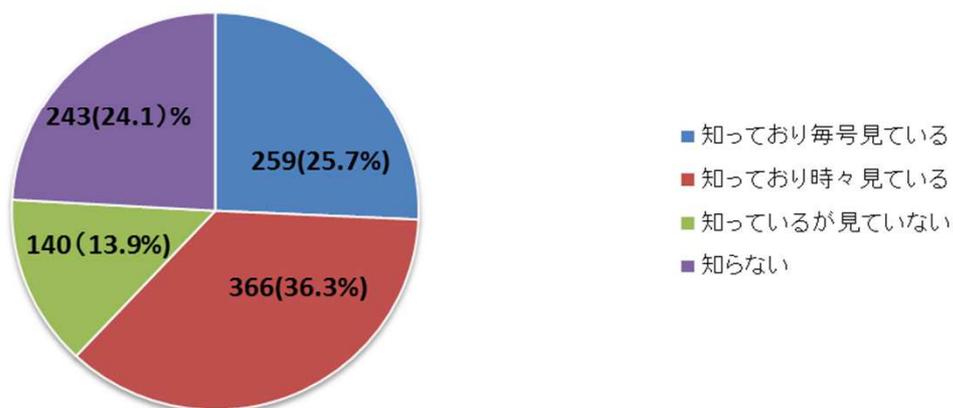
問9: 社協が行っている事業で知っているものを教えてください(複数選択可)



問10: 社協に対するご意見などをお聞かせください

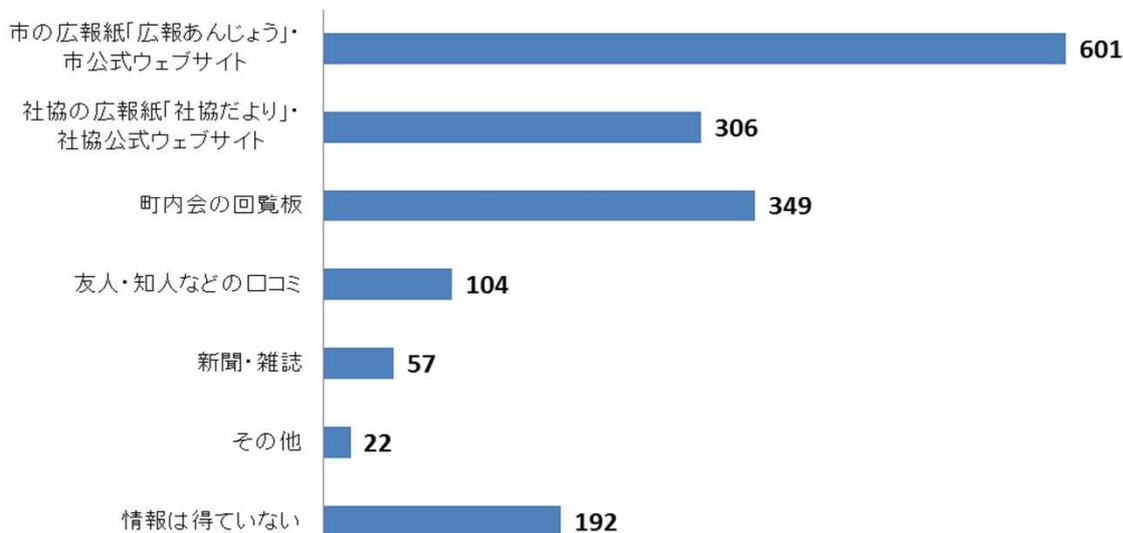
- ・更なる高齢化社会に向け、地域と連携しきめ細かは活動の推進
- ・各町内の民生委員と、更に連携をみつにしてほしい
- ・地域によって福祉活動のレベルの差が必ず出る。社協には、低きを高きレベルへとの均質化支援に力をいれて欲しい
- ・障がいを持つ人と持って無い人の橋渡し
- ・明祥地区にも福祉センターを作ってください
- ・具体的にどのような仕事をしているのかが分からない
- ・市の福祉行政と重複している事業が多い
- ・以前不要になったベビー用品や介護用品を譲る仲介をしてくれてました。また再開してほしい
- ・社協は本当に必要なのだろうか？民間やNPO、自治会との連携を深め、箱モノではなく、福祉やボランティア業務の中身を充実させてほしい
- ・私自身障害者なので大変助かってます
- ・1人暮らしの高齢者の把握をしていただき、病気は勿論、災害時に消息が判る様にしてくださいと思います
- ・高齢者、障害者だけでなく、一般市民も一緒に活動できる場があるとよいと思います。障害の度合いで難しい事もあると思いますが、あまり決まり事に縛られず色々な高齢者等含めワイワイ出来る場があると面白いかと思います
- ・福祉センターというと、どうしても高齢者や障害者以外の人には関係ない施設という先入観があり、イベントや、情報が載っていても、スルーしてしまうことが多いのが現状です
- ・高齢者が生き生き暮らせる町作りにリーダーシップをお願いしたい
- ・自分が、もう少し年を取ると、今よりは身近な存在になるのかと思います
- ・取り組んでいらっしゃる事業等を告知する手段をもっと複数考えていただきたい
- ・まだ関心が無いが、今後お世話になるので活動内容を理解していく
- ・地域密着型で地域の人々の声をすぐに反映できるようにして欲しい

問11: 社協では、福祉に関する情報をお届けする広報紙「社協だより」を発行していますが、知っていますか



単位: 人(割合%)

問12: 福祉に関する情報をどこから得ていますか(複数回答可)



問13:「社協だより」や社協公式ウェブサイトへの意見・感想や取り上げてほしい内容などお書きください

・健康寿命を延ばすために、安城市の独自性有る活動の推進、たとえば健幸体操で身体を動かす。安城産の野菜を使った健幸料理等々開発して市民に情報・場所・イベントを提供していつまでも健幸で生活できる活動の推進

- ・身近な話題を多く
- ・主催する講演会があれば広報してほしいと思います
- ・認知症の方がおこす事件や法律で裁かれた時の事例
- ・各イベント情報をもっと早く詳細に知りたい
- ・目立たなすぎる
- ・差別の無い社会づくりをしてほしい
- ・ボランティアグループ活動報告を紹介してほしい
- ・ボランティアの紹介がたまに載っていますが、今すぐ必要なボランティアの人数、～が得意な人とか何かの経験者、の様な募集をかけてもいいと思う
- ・福祉体験をする機会があれば知らせてほしい
- ・高齢者も児童もない家庭へかかわり方を発信してほしい
- ・障がい者手帳を持ってない「障がい者」は「福祉」が利用できないと思う
- ・社協だよりの配布は1枚ビラでよい。ネットを観ない人は沢山情報を書いても、結局は電話か、訪問になるでしょう
- ・災害時の対応について、重要な事から順次シリーズで流して頂きたいと思います
- ・気軽に参加できるボランティア活動
- ・高齢者のみ対象のイメージがある。幼児障害者情報
- ・福祉施設の案内とその利用状況
- ・地域のイベントなどを早くから紹介してほしいです。予定を立てたいから
- ・安城市の広報と一緒に届くので一緒に見る人が多いです
- ・娘が障害者で、手帳ももっています。4級なので該当しない補助休みにサービスが多いのですが、補助が出ることを知らずに過ぎてしまった事も多々ありショックでした。補助の説明が級別分 かりやすく書かれた冊子が欲しいです
- ・講習会の情報を詳しくほしい
- ・身近で手軽な活動・人物の紹介
- ・社協の利用は、年齢・職業・健康状態・活動範囲等によっておおきく異なるとおもいます。必要な人が必要な情報を得られるように工夫するべきだと思います
- ・もっと関心のもてるような内容のサイト展開
- ・配布はゴミが増えて不要なため、やめてほしい
- ・各校区のボランティア活動の状況
- ・社協だよりは広報には含まれているのでいつも読んでいます
- ・ボランティア団体の活動紹介
- ・勉強不足でした。社協だよりなどももう少し深く読んでみたいと思います
- ・自分よりも年上の元気な高齢者の生き様は非常に参考になり、元気をもらえるので、そのような情報を映像やお話会などで、できるかぎり生々しく接することができるようにしてほしい
- ・気軽にお手伝いできるボランティアがあれば参加したいです。そのような求人があれば載せてください
- ・たよりは見やすいと思います
- ・社協だよりのデザイン、用紙の色や文字など読みやすいように工夫してほしいです
- ・社協が社会福祉協会と初めて知りました…わかりにくすぎます！社福ならイメージで
- ・アート活動への参加
- ・地道に継続してください
- ・補助や控除など、お得になる情報を知りたい
- ・補助や免除など、こうするといいということを分かりやすく知りたい
- ・他市の活動を知りたい
- ・福祉センターでは普段どんなことが行われているのかよくわからない
- ・福祉センターがどこにあるのか、どういう人が何人いるのか、具体的なことを何も知りません。現在、そういったことに縁がないということもありますが、いざ相談したいと思った時にアタフタするのは間違いだと思います。一度広報で特集してほしいです

- ・子供の遊び場の確保。公園は色々な場所にあつて助かりますが、ただ、ボール遊びが出来る場所がなかなかありません。ボール遊び禁止、という場所が多いです
- ・これを機会にwebサイトを見ました。可もなく不可もなくといった感じでした。SNSにも情報配信されるとタイムリーな情報が受け取られると思った
- ・安城広報と統合してほしいです
- ・介護・障がい者がメインだが、それを押すと、関わりを持ったことのない人は興味を持たないと思うので、四コマ漫画などみんながつい見てしまうような付加価値を付けた
- ・社協だよりが難しいテーマの時でも、とても分かりやすいです
- ・活動PRが不足している気がする。年代が幅広いので、多種の方法を並行して進める必要があるかもしれません
- ・気楽にボランティア活動が出来る情報を取り上げられた良いと思う
- ・興味をそそる記事がない
- ・市の広報紙としては大変見やすいと思う。見てもらう事が大事だと思うので、今のまま頑張ってもらいたい
- ・介護の支援情報・介護の困り事など
- ・子供しかいない世帯なので、今まで興味や関心をもっていませんでした。高齢者と子供の交流会やクリスマス会など、子供しかいない世帯でも興味を持てるようなイベントがあるといいなと思います
- ・活動内容の紹介
- ・収支決算報告
- ・毎回興味をもって読ませてもらっています
- ・福祉の事
- ・特養の費用、入居待ち状況等の情報提供があれば利用を検討中の家族は助かるのでは
- ・よくわからない事が多々あると感じているので分かりやすい名称？とか、活動を頻繁に回覧板等で知らせたい
- ・小学生未満の子供が学べる教室を増やしてほしい
- ・「社協だより」は、とてもよいとおもいます
- ・手話を勉強したいのですが講座や資料の貸し出しをしてほしいです
- ・ボランティア募集など
- ・ウェブサイトは実績主体では無く年度レベルの計画も掲載してほしい
- ・パソコンを持たない家庭は未だに多くあるので、何につけてもウェブ検索を優先してほしいです
- ・手元にはくるが、自分とは関係がない気がしてあまり見ていません。お年寄りの方向けのイメージですが、実際にお年寄りの手助けになっているならそれでいいと思います
- ・分からない。今は特には必要が少ない
- ・センターだよりの更新が遅いので2か月分くらい早めに載せてほしい
- ・今は必要ない情報ですが、広報が分かりやすいので、将来、心強いといつも思っています
- ・公式ウェブサイトをもう少し見やすくしてほしい
- ・ひとり暮らしのお年寄りが、明るくいいきいと、生きていけるようにするために、福祉の取り組みは、あるべき。Webは、もちろん家族がみて知ることができるツールだが、ひとり暮らしのお年寄りは、はたしてパソコンをみれるだろうか疑問です。ひとり暮らしのお年寄りが、知ることができる情報ツールで、福祉の事を伝えてほしいです。
- ・身近に感じられるような企画があると良い
- ・福祉センターには、高齢者や障害者、幼児等が中心に集まる場所だと思うので、感染症が広がるのが心配です。インフルエンザ等の感染を少しでも減らすように、空気清浄機があると安心して活動ができると思います
- ・災害時における要援護者の支援方法
- ・私も2児の障害者親として社協だよりなどで情報を得ています。 これからもより身近なものとして地域限定などのイベントなども細かくお知らせいただけたらと思います
- ・写真がたくさんでわかりやすくて見やすいです
- ・作業所のお祭りの予定等知りたいです
- ・市民が福祉センターを身近に感じることができるよう工夫をぜひお願いしたい
- ・高齢者の中には自分を老人と認めたくなくて社協の活動に無関心な人がいると思う。もっとスポーツなどアクティブで若々しい活動を取り上げると良いと思う
- ・現役世代(特に男性)に向けたセンター利活用のPRがあった方が良いと思う